

平成27年度「さわやか詩集」完成！



平成27年度の「さわやか詩集」には、小中学校あわせて、1,369編の応募があり、昨年10月9日に開催された審査会（菅野昌和審査委員長）で、入賞作品90編が選ばれました。
ここでは、「大滝清雄賞」と「さわやか大賞」に輝いた受賞作品を紹介します。
なお、詩集は町図書館の「さわやか詩集コーナー」にありますので、ぜひご覧ください。

「さわやか詩集」とは…

平成元年の町図書館開館当時から、当町出身の詩人（故）大滝清雄さんの功績をたたえとともに、図書館の「大滝清雄文庫」の開庫を記念して毎年詩を募集し、優秀作品の表彰と詩集の発行を行っています。



さわやか詩集表彰式&ポエムコンサート

1月24日には、町教育委員会主催の「平成27年度さわやか詩集表彰式」が、町文化センター大ホールで開催されました。

表彰式では、栗林正樹教育長から入賞者の皆さんに賞状と記念品が贈られ、菅野昌和審査委員長による選評の後、さわやか賞、さわやか大賞、大滝清雄賞に輝いた作品13編の朗読発表が行われました。

会場内に、入賞者がそれぞれ心を込めて読み上げた作品の数々が響きわたった後、ポエムコンサートが開催され、「矢部重光と仲間たち」がアコーディオン・尺八・ハーモニカの演奏を披露。最後は、演奏に合わせて、会場にいる皆さんも一緒に「ふるさと」を合唱しました。



平成27年度さわやか詩集入賞者

(敬称略)

●大滝清雄賞 2人			
題名	学校・学年	氏名	
夜の世界	善郷小6年	松山	咲菜
戦争と平和	矢吹中2年	中野	綾子

●さわやか大賞 2人			
題名	学校・学年	氏名	
まんげきょう	矢吹小1年	佐藤	光
空に思う	矢吹中3年	畠	遼太郎

●さわやか賞 9人			
題名	学校・学年	氏名	
なつのはたけ	三神小1年	鈴木	啓斗
まほうのことば	三神小2年	猪合	美冴
のぼりぼう	中畑小3年	嶋原	梓
本で変身	矢吹小4年	中野	千聖
スプーン一杯	善郷小5年	稲田	華之
夢	善郷小6年	橋本	綺羅
戦後七十年	矢吹中1年	角田	陽菜乃
言霊	矢吹中2年	小椋	未香子
虹の笑顔	矢吹中3年	田澤	玲菜

●入選 77人

大滝清雄賞

「夜の世界」



松山 咲菜さん
(善郷小6年)

昼が終わると新しい世界のはじまり
それは夜の世界
無数にちらばった星たちの世界
いつも少しずつ形を変える月の世界

昼間はかくれている動物たちの世界
明るいとどきはずかしがっている
星たちは夜がくると堂々としている
月と動物たちもそうだ
小さなライトのあたりがぼたるとようだ
建物のあたりが遠くから見ると
キラキラ笑っているようだ
私たちが知らないところで
夜の世界は動いている
夜の世界がキラキラしていると
私たちの目もキラキラしている
私たちが悲しんでいると
夜の世界も悲しんでいる
そうやって夜の世界は動いている

さわやか大賞

「まんげきょう」



佐藤 光さん
(矢吹小1年)

まんげきょうをのぞいたら
もぐらのすがみえた
びっくりして
もういつかのぞいたら

キラキラのほしがみえた
つつまわしたら
うちゅうがキラキラしてました
もういちどまわしたら
はなびがはーとあがりました
まんげきょうのなかをのぞくと
おはながきれいにさいていた
まんげきょうがたのしくて
わたしもなかにとびこみたい

大滝清雄賞

「戦争と平和」



中野 綾子さん
(矢吹中2年)

今年戦後七〇年にあたる
たくさんテレビのニュースや新聞
で見た
私たち戦後生まれは戦争の怖さを

知らない
小五の時に家族旅行で広島に行った
原爆ドーム 記念館を見学した
原爆が落ちる前に友達と食べていたであろう
黒こげのお弁当
疲れて座っていたであろう人影の石
それを見て胸がつまる思いをした
原爆投下までごく普通の生活を送っていた
その生活が一瞬にして別世界に変わった
世界中にはまだ核兵器を保有している国が
たくさんある
私は核兵器を持つことに絶対に反対だ
世界のどこへ行っても安全に暮らせる
平和な場所になることを願いたい

さわやか大賞

「空に思う」



畠 遼太郎さん
(矢吹中3年)

暗れ
どこまでも広がる青は
透き通った海のように美しく
つい見とれてしまう

曇り
暗くよんだ空の中から一筋の光
が差した時
それは希望の光に感じる
雨
それはまるで
空が泣いているかのように冷たく
私たちに降り注ぐ
雪
冷たくも美しいそれは
母のように優しく
私たちが包み込む
空は生きている
ならば 空は常に何を思い
何を感じているのだろうか